

単元名：ホームステイ先で互いの家族を紹介						
科目名	中国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー	
学年／年次	-	クラス人数	-	使用教科書名（対応する課）	-	
話題分野	自分と身近な人びと	言語レベル	2	必要時間数	4～6時間	
I 単元目標						
交流校の生徒宅にホームステイし、自作のスクラップブックを使って自分の家族のことを紹介したり、相手の家族のことを尋ねたりして交流し、帰国後ホームステイの経験をクラスで発表できる。						
	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						
言語領域		文化領域		グローバル社会領域		
◆ホストファミリーと話し、交流することができる。 ◆ホストファミリーが書いたメール（自己紹介）や、クラスメートの書いた報告を読むことができる。 ◆出発前にメールで自己紹介することができる。 ◆帰国後、ホストファミリーとの話し合いについてまとめて報告することができる。 ◆初対面の相手とコミュニケーションできる。（コミュニケーション・ストラテジー）		◆日中の家族に関する考え方を比較し、自分の家族構成、家族のあり方について振り返ることができる。 ◆日中の高校生の職業観について比較し、自らの職業観について表現することができる。 ◆同世代として、将来就きたい職業や卒業後の進路について、共通性も含めて比較し、分析することができる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。		◆家族の写真（あるいは写真をデジタル化し、フォトショップやビデオを使用）を使ってスクラップブックを作ることができる。（情報活用） ◆交流相手の家族への質問について適不適を考えることができる。（高度思考） ◆今回のホームステイで発見したことをクラスでまとめ、クラスのブログに発表する。（情報活用） ◆日本、中国が抱える人口問題（少子化、高齢化、一人っ子政策）、家族問題などを理解する。（知識理解） ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。		
コミュニケーション能力指標	【自分と身近な人びと】 2-a.家族の職業（会社員、学生など）やペット（名前、種類、飼いはじめた時期など）について、口頭または書いて紹介しあうことができる。 2-b.自分や身近な人の外見（背が高い、髪が長いなど）について、口頭で描写しあうことができる。 2-c.卒業後の進路（進学する、就職する、留学するなど）および将来就きたい職業や働きたい場所について、話し合うことができる。 ★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している。					
II 評価						
学習を助けるための評価（形成的評価）				目標達成度を測る全体的評価（総括的評価）		
◆決まり文句であいさつし、自己紹介する（発音の正確さ、メッセージの伝え方） ◆家族や友人を紹介する文を作る。（情報量、独創性、表現の適切さ） ◆20年後の自分の家族について話す。（内容の適切さ、要点の分かりやすさ、表現の適切さ）				◆家族の写真を使ったスクラップブックを見せながら家族について紹介し質問に答える。（写真の使い方、キャプションの表現の適切さ、発話の分かりやすさ、質問への答え方、コミュニケーション・ストラテジーの使い方・量など）		

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
◆復習として、決まり文句であいさつし、自己紹介をする。 ◆10家族程度のイラスト入り構成図(年齢、身長、体重、職業などを記入)を用意する。各グループがそれぞれ1つの家族を選び、これまで習った表現を使って家族の紹介文を考え発表する。発表したグループ以外の人は質問する【2-a,b】 ◆「20年後の自分の家族(どんな仕事をしているか、未婚か既婚か、子どもはいるか、親は同居しているか...を自由に設定させる)」を絵に描かせて、それについて紹介する。【2-c】 ★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標	<場面状況> 3か月前に中国の交流校の生徒たちを迎えたB高校の生徒たちは、今度は中国の交流校を訪問し、中国の生徒たちの家にホームステイすることになった。 <活動の流れ> ホームステイ先で家族を紹介する時に必要な項目(年齢、職業、趣味、悪癖.....)をリストアップする。それを中国語でどう表現するか考えておく。実際に紹介をするときに使用する項目を選んで話す練習をする。リストは質問が出たときのために携帯する。 家族の写真を使ってスクラップブックを作り(あるいは写真をデジタル化し、フォトショップやビデオを使用)、それを利用して家族紹介の練習をする。相手の家族への質問について質問内容の適不適を話し合う。 現地に到着し、交流校での歓迎会終了後、それぞれのホームステイ先に向かう。ホストファミリーと食事した後、お茶を飲みながらお互いの家族について雑談する。 自分の家族について、持ってきたスクラップブックなどを見せながら職業や外見などを簡単に紹介した後、相手の家族のことについてもいろいろ尋ねてみる。自分の両親の職業に関連させながら、将来どんな職業に就きたいかなどについても話し、相手の考えも聞いてみる。 帰国後、ホストファミリーとの交流についてそれぞれ報告し、日本と中国の家族の類似性、相違性などについて話し合う。今回のホームステイで発見したことをクラスでまとめ、クラスのブログに発表する。 ヒント☞ ◆中国の高校生との交流がない場合は、クラスの中でグループごとに家族について紹介し、お互いに質問し合う。	
<使用教材・教具> カード(名刺)、模造紙、マジックペン、家族の写真、パソコンなど		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<表現> 我爸爸是公务员/我妈妈在银行工作/我妈妈是专职主妇/我姐姐在广告公司搞设计/我家养了一条狗，它叫小黑，已经八岁了/我们家两只猫，是我小学的时候开始养的/我爸爸个子很高/他妹妹长得非常漂亮/我眼睛小，我妈妈眼睛大/我妹妹像我爸爸，个子很高/毕业后你想干什么？/将来你有什么打算？/毕业后我想上大学/上完高中，我想考艺术院校/将来我打算去国外留学/将来我想当公务员/我想进大学学经济，以后当会计师。 <表現のポイント> 介詞“在”：“在”＋場所＋動詞＋(目的語)、数量詞“一只”“一条”、範囲を表わす副詞“还”、時間を表わす副詞“已经”、“的”字連語:動詞＋“的”、動態助詞“了”：動詞＋“了”、語気助詞“了”、強調文“是～的”、形容詞述語文、主述述語文、程度を表わす副詞“很”“非常”“比较”、構造助詞“得”：様態補語、助動詞“想”“要”“打算”、連動文：“去”(“来”)+場所＋動詞＋目的語、方法・手	職業に関する語彙(銀行・公務員)など、ペット(猫、狗、魚、鳥)など、外見についての語彙(个子高・漂亮)等、進路に関する語彙(升学、就职)等	<事象> ◆家族の形態(家族構成、一人っ子政策) ◆家族関係 ◆職業観・進路観 <事象のポイント> ◆中国の一人っ子政策の家族的、社会的意味について理解する。 ◆日中の家族に対する意識についても比較してみる。 ◆同世代として、将来就きたい職業や卒業後の進路についてどのような考えをもっているのか、共通性も含めて比較する。
教室外(人・モノ・情報)との連繋		
中国でホームステイ		社会